文具探偵 ぶんちゃんデビュー！

２月のイベントは２月２２日のにゃん・にゃんにゃんで「ねこの日」にちなんで、「文具探偵ぶんちゃんとねこ探し」でした。

売場に逃げ込んだねこが何匹いるのか教えてほしいという「文具探偵ぶんちゃんからの依頼」をお店の前に貼り出し、ちびっこ探偵を募集。その結果、小さなお子様だけでなく、学生さん、お母さんも！たくさんの探偵さんがいらっしゃいました。

ちなみにお店の中に逃げ込んだねこは１１匹。多くの探偵さんが「１０匹」で提出してくださり、スタッフ内でも「いつも１匹たりないけど、一体どのねこが見つからないんだ！」と盛り上がりました。また、「もう少しいるよ」というヒントから、全て見つけるまで何度もチャレンジしてくれた結果、逆に１２匹と「どうして増えたんだ！？」というようなこともあり、こちらもスタッフがお客様と一緒になって楽しんでしまいました。と、いった具合に、全体的にとても楽しいイベントでした！

そして、このイベントから「文具探偵ぶんちゃん」がデビュー！こちらで毎月レポートをしている「月に一度のイベントシリーズ」で、何ヶ月かに一度、みなさまと一緒に謎を解いたり色々なことに挑戦していきたいと考えていますので、お楽しみに！

ちょこっと豆知識 入学準備にはなぜ「クレヨン」？「クレヨン」と「クレパス」の違いとは？

なぜ初等教育において、または入学準備にて、まずは「色鉛筆」ではなく「クレヨン」や「クレパス」が選ばれているのかご存知でしょうか。

その答えのひとつは「色鉛筆」は尖らせて描きやすい芯の状態を保つために定期的な鉛筆削りが必要な反面、「クレヨン」や「クレパス」は、手を汚すことなく気軽にそのままの状態で使用することができるため。後者のほうがよりお絵かきに熱中できそうですよね。さらに、「クレヨン」「クレパス」は力が弱くても描きやすいという特徴も持っています。このようなメリットから、初等教育では「クレヨン」や「クレパス」が多く選ばれています。

そんな「クレヨン」と「クレパス」は「同じもの」として認識されがちですが、実は別物。それぞれ顔料に加え、「クレヨン」は蝋（ろう）、「クレパス」は油脂を主成分にしたメディウムを使用しています。

そのため、「クレヨン」は「クレパス」に比べて細くて硬く、細かい線や絵を描くのに適しています。「クレパス」は「クレヨン」に比べて太くて柔らかいため、むらなく色を塗るときに便利です。混色（グラデーションも！）も「クレヨン」よりもしっかり混ざり、きれいに仕上がります。「描く」か「塗る」か、どこに重きをおくかで使い分けるのも良さそうですね。

「クレパス」「クレヨン」「色鉛筆」など、同じ用途でもそれぞれ特徴のある画材を、子どもたちの成長ややりたいこと（表現したいこと）に合わせて使い分けることによって、「美術」や「描くこと」をより深く楽しんで学べるのではないでしょうか。

文盛堂では、子どもはもちろん大人のかたへも、ひとりひとりに合った「文具」や「画材」を選ぶお手伝いをしていきたいと考えています。みなさまの生活がより楽しく、豊かなものになれば素晴らしく、幸いです！

stationery goods
BUNseido
株式会社 文盛堂

TEL 042-752-2303(代 表)
042-752-1104(店直通)
FAX 042-755-5117
〒252-0237
相模原市中央区千代田 6-1-18

URL http://www.bunseido.net MAIL bunseido@bunseido.net

ショップカードもあります LINE @wdi0003d
インスタグラム @bunseido
Youtube チャンネル LINE ぶんちゃんねる

しんぶんちゃんの他にもこちらで最新情報をお届けしています！